

## 西宮市環境計画推進パートナーシップ会議 令和5年度第1回生物多様性推進部会

日 時：令和5年11月16日（木）

午前10時30分～午後12時15分

場 所：甲山自然の家 第一研修室

出席者：

◆委員

張野委員、石丸委員、平井委員、畑田委員、達川委員

◆事務局

公園緑化部長 他7名

### 開催概要 兼 発言要旨

#### 1. 部会長・副部会長の選出について

委員長：石丸委員

副委員長：平井委員

#### 2. 報告事項

(1) 西宮市内のナラ枯れ被害状況について

事務局より説明。

・被害木の処理は完了しているのか（委員）

→虫が入っても枯れていない木は経過を見守り、枯れた木は伐倒・燻蒸処理を行った。その際は、兵庫県の補助事業を活用した。（事務局）

・減少している要因は虫の移動によるものか。もしくは対策の結果によるものか（委員）

→解明はされていないが、虫の移動によるものと想定される。（事務局）

様々な方面へ分散して移動しているが、カシノナガキクイムシが繁殖しやすい木の大きさがあり、そのような木が密集している場所へ移動していく説もある。（委員）

→カシノナガキクイムシは別種くらい異なる2系統が少なくともいることが判明しており、両系統が近畿地方で被害をもたらしている。DNA解析でしか系統を特定ができず、性質が同じか異なるかも判明していないことから、どの系統がどの方向に移動しているかも分からないため、再来の可能性はある。

また、3年程度被害が続いた後に沈静化する点が共通の特徴であるが、理由は判明していない。被害を受けて、樹液が垂れている木が多いが枯れずに生き残る。大きな木がある場所は被害を受けやすい傾向がある。（委員）

・コナラが自然再生しない点と、アラカシが生えて照葉樹林化することを防ぐ点からコナラかマツを植栽した方が良い。（委員）

→ナラ枯れに耐性のあるシデ類の木を育成している。（事務局）

・枯れた木の再利用はできるのか（委員）

→伐採した中で資材として使える部分をキャンプ場の薪として利用している。（事務局）

（２）甲山湿原保全の現状について

事務局より説明。

（３）市民自然調査の実施状況について

事務局より説明。

・武庫川に多くのカワウがいる。（委員）

・西宮市内の川では在来種のカメと外来種のカメの両方が見られる。（委員）

→京阪神は外来種のみシシピアカミミガメが多いが、不思議と在来種のイシガメはいなくならない。カメを捕まえた場合、100匹に1匹くらいの割合でイシガメがいる。クサガメはイシガメより少し多い。（委員）

→クサガメとイシガメは交雑するのか。（委員）

→カメはかなり自由に交雑をする。（委員）

・調査結果を「生態系レッドデータブック」にどのように反映するのか（委員）

→フィールドとして記載されているが詳しい調査ができていない場所もあるため、その部分の更新を行いたい。

また、今後データが蓄積していけば、大規模な開発事業の手続きがあった際に事業者への案内に活用したい。（事務局）

・ツバメは姿を街中で見かけるが、巣を見かけなくなっているため、街中で繁殖しているかどうか判明しづらい。田んぼが少なくなり餌が減ったことや、イソヒヨドリがツバメの雛を襲っている可能性があり、そのことが街中での営巣が減っている原因という説がある。

（委員）

→生瀬新大橋の下に多くの巣がある。（委員）

（４）森林環境譲与税を活用した令和6年度事業（予定）について

事務局より説明。

### 3. 協議事項

（１）甲山湿原の保全に向けた今後の対策について

事務局より説明。現地を確認した後に協議を行う。

（２）環境省「自然共生サイト」への登録申請について

事務局より説明。

・いつの登録を目指しているのか（委員）

→来年度（令和6年度）の下半期の申請を考えている。

- ・対象地域は既に保護地域になっているのか（委員）
- 一部保護地域が混在していても問題ないと環境省に確認している（事務局）
- 全域が保護地域でも問題ないが、30by30 の面積としては増えない。西宮市の保護地域は現在何%あるのか（委員）
- データがないため、収集を行う。（事務局）
- ・甲山と社家郷山は分けて申請するのか。（委員）
- 環境省と調整を行う。（事務局）
- ・「自然共生サイト」に認定されたらどうなるのか。（委員）
- 環境省のホームページでの公表や OECM（保護地域以外で生物多様性保全に資する地域）の国際データベースに登録されるため、活動団体のモチベーションに繋がると考えられる。（事務局）

#### 4. 甲山湿原の現地視察

事務局より現地を案内しながら説明。協議事項「甲山湿原の保全に向けた今後の対策について」は次回協議を行う。